

「我が国の強みを活かした研究開発戦略の構築」の検討に際しての論点 (案)

最終取りまとめに向けて検討することとしている「我が国の強みを活かした研究開発戦略の構築」については、以下の観点から検討することとしてはどうか。

(基本的考え方)

論点1 知識集約型社会における価値創造の源泉たる「知」の多様性を確保するため、特定の重点分野を定めずにあらゆる分野を対象に、研究者の自由な発想に基づいて行われる、人文学・社会科学を含む学術研究に対して、十分な規模の資源を戦略的に配分することが重要ではないか。

論点2 このような基盤的な学術研究に加えて、我が国が目指すべき社会的・経済的な価値の向上に資する重要な研究開発領域に対しては、追加的に政策資源を重点に配分し、政府の研究開発投資戦略は、これらを最適に組み合わせたポートフォリオを考慮したものであることが重要ではないか。

論点3 重要な研究開発領域においては、戦略的な基礎研究への投資により「知」の創出を加速するとともに、「知」を一気に社会的・経済的価値まで大きく発展させるための出口に向けた集中的な研究開発を実施すべきではないか。

(目指すべき社会的・経済的価値)

論点4 我が国が目指すべき社会的・経済的価値としては、以下が挙げられるのではないか。その際、地政学的な状況も含むグローバルな情勢を踏まえた国のとるべき政策の方向性からも考えていくことが必要ではないか。

- ① 我が国の産業競争力の強化により、強い経済を通じて、国民生活を豊かにする
- ② 我が国や世界が抱える課題の解決に貢献し、持続可能な社会を実現する
- ③ 国民の安全・安心を確保し、生命、尊厳、財産、国土を守る

(重点研究開発領域の抽出の考え方)

論点5 我が国として重点的に推進すべき重要な研究開発領域とその中で特に取り組むべきテーマの抽出に当たっての考え方として、例えば以下が挙げられるのではないか。

- (A) 我が国が目指すべき社会的・経済的価値の創出に際して、重要な科学技術分野であり、新たな科学的発見や基本原理の解明、革新的技術の創出、経済社会システムの変革等により、ボトルネックとなっている技術的・社会的な課題を、大きく前進させる可能性のあるもの

- (B) 重点的な研究開発投資を行うことが、我が国の競争優位性や国家基盤の存立につながるもの
 - (b-1) 我が国に優位性（基礎研究、産業技術、人材、研究基盤等）があるもの
 - (b-2) 新興領域であり、我が国が今後優位性を確保できる見込みがあるもの
 - (b-3) 国民の安全・安心の確保にとって必要不可欠であり、我が国として必ず保持すべきもの
- (C) 様々な分野の科学や産業の発展に貢献する基盤的な領域や技術であるもの

論点 6 社会的・経済的価値の実現を目指す重点的な研究開発の推進に当たっては、技術シーズから実現できる社会像を想定するフォアキャスト型のアプローチに加えて、あるべき将来像から取り組むべき科学的・技術的課題を抽出するバックキャスト型のアプローチが極めて重要であり、この二つのアプローチのバランスを取って取り組むべき研究開発領域やテーマを選定していくことが重要ではないか。

（情報収集・分析と戦略立案体制）

論点 7 我が国が推進すべき重要な研究開発領域を抽出するに当たっては、政府としてエビデンスに基づいた最新の研究開発動向や地政学的な状況を的確に収集分析し、先手を打つことのできる戦略立案を行う体制が必要ではないか。

論点 8 変化の激しい時代において、新興・融合領域の出現等の状況の変化に的確に対応していくためには、一旦選定した重点的な研究開発領域についても、上記の体制を活用し適宜見直しを可能とすることが必要ではないか。

（具体的な研究開発領域及びテーマの選定）

論点 9 これらの論点を踏まえて、どのような重点的に推進すべき研究開発領域とテーマの選定を行うべきか。

論点 10 論点 9 で選定した研究開発領域を推進するためには、関連する研究開発システム（ファンディング、人材育成、研究拠点の形成等の大学や国研の在り方、知財戦略、最先端科学技術の情報管理、国際戦略等）についても一体的に検討することが重要ではないか。